

年後半から南米～欧州航路に投入される。

Hapagは冷凍技術専門Carrier Transicold社と自然冷媒によるリーファーバンの試験運用を行うなど、新たな定温輸送機器開発にも取り組んでいる。

コンソリ新サービス

Shipcoが関東→Tacoma直行混載 阪神/清水/名古屋CFS受けも

Shipco Transport(日本法人:シブコトランスポートジャパン)は9月下旬から、東京発・米国Tacoma向けダイレクト混載をスタートする。

起用船社はMOLで、東京からTacomaへ直航便によるウィークリー・サービス。神戸/大阪/清水/名古屋の各CFSでの荷受け転送も引き受ける。

基本スケジュールは以下の通り(カッコ内数字はカット日起算の所要日数)。サービス第1便は、東京⑨29出港のGreenwich Bridge 092E次航でTacoma ETAは⑩8。

Shipcoの関東発・Tacoma向け混載

横浜CFSカット 東京CFSカット 東京ETD Tacoma ETA
⑨(0).....⑩(2).....⑪(8).....⑫(17)

フォワーダー新サービス

リアルインター九州支店が通関免許 中古車コンテナ輸出の営業強化

中古車輸出を中心とした海運仲介/船舶代理/集荷業務を展開するオートグランド(本社:大阪市、田巻 不二夫社長)のグループ会社で、ヤード運営や中古車のコンテナ輸出を手がけるリアルインターナショナルの九州支店が、2016年9月20日付で門司税関から通関業の許可を取得した。

オートグランド・グループは門司や苅田、下関に定期寄港するHoegh Autolinersなどの集荷代理店を務めており、門司・田野浦や苅田、下関・長州出島などの提携ヤードを拠点に中古車輸出業務を展開している。九州支店での通関業務スタートにより、九州・西中国エリアにおける中古車のコンテナ輸取出扱いの拡大を図っていく。

(株)リアルインターナショナル・九州支店

北九州市小倉北区浅野2-14-1 KMMビル310
☎093-551-7100 ☎093-551-7125

新進フォワーダー「大谷 SHIPPING」 イラン向け輸送&コンサルで存在感

2013年に船社代理店OBが設立した新進フォワーダーの大谷 SHIPPING株式会社(Ohya Shipping Co., Ltd.、大谷 進・代表取締役)が、制裁解除で物流

の回復が見込まれているイラン向けおよびイラン経由のCIS諸国向けのフォーワーディングと輸送コンサルティングで、独自の存在感を発揮している。

同社の大谷代表が、制裁発動以前にイラン国営船社の代理店を務めていた経験と現地側有力代理店との人脈をもとに、イランBandar Abbas/Bandar Bushehr向けを中心にFCL/LCLのほか在来カーゴの輸送アレンジを展開しているもので、FCLに関してはイラン内陸へのドアデリバリー手配も行っており、また緊急時のエア輸送対応も行っている。

またBandar Abbasを経由した中央アジア/コーカサスへのランドブリッジ手配にも対応しており、代理人脈を通じた現地の有益な情報を荷主に提供するなど、輸送コンサルティングの面でも荷主から好評を得ているという。

さらに同社は、日本～中国・太倉(Taicang)コンテナ航路の集荷代理店を行うほか、ベトナムやフィリピンなど東南ア向けコンテナ輸送に関しても、「配船社とコントラクトを結んでおり、サプライズな運賃を提供できます。アジア方面を中心とした自動車専用船のブッキングも取り扱っている」としている。

大谷 SHIPPING株式会社(<http://www.ohyashipping.com>)

東京都中央区湊1-8-11 ライジングビル5-20
☎03-3523-5755 ☎03-6733-8533

セイノーロジックス が創立30周年に向け H/Pに特設ページ— 過去のガゼット表紙広告も

セイノーロジックス(本社:横浜市、渡辺 景吾社長)が、2016年11月1日に創立30周年を迎えるのに際し、このほどホームページ(<http://www.logix.co.jp/>)内に特設ページを開設した。渡辺社長の感謝を表わす挨拶のほか、これ

までSHIPPING GAZETTEの表紙を飾った数々のユニークな同社広告が振り返ることができるギャラリー略年譜が掲載されている。業界20年以上の読者には懐かしい表紙もあるかもしれない。

この特設ページはトップページ上部の30周年記念アイコンの「ダルマさん」をクリックすると閲覧可能で、レスポンス対応で制作されており、パソコン/タブレット/スマホなど閲覧端末に合わせて画面が切り替わるため、移動中などのどんな環境でも快適に見ることができるという。

